令和8(2026)年10月30日発行

川崎市立井田病院
川崎市 Kawasaki Municipal Ida Hospital

地域がん診療連携拠点病院・地域医療支援病院 <川崎市立井田病院からのお知らせ>

第92号 井田山

基本理念「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、
市民が安心してかかれる病院づくりを目指します。」

「世界手洗いの日」手洗い・手指消毒で感染予防

10月15日 Global Handwashing Day

みんなで守ろう 患者さんと職員の安全

10月15日の「世界手洗いの日」に合わせて、感染部会では手洗いや手指消毒の大切さを再認識するための啓発活動を実施しました。活動の一つとして、使用後の手指消毒剤ボトルを活用したモニュメントを作成しました。また、各部署が「自分たちにできる感染対策」を考え、その内容をポスターにまとめて掲示しました。

職員一人ひとりが感染対策について改めて考え、日頃の実践につなげる良い機会となりました。今後も安心・安全な医療環境づくりを目指し、継続して感染対策の啓発活動に取り組んでまいります。







（文責：感染対策室）

井田病院ホームページはこちら

１１月１９日に市民公開講座を開催します。



今回の市民公開講座のテーマは、感染症内科の中島由紀子部長による「感染症専門医が語るワクチンで守る健康」です。
インフルエンザや新型コロナウイルスの流行で、ワクチンについて気になっている人も多いのではないでしょうか。
興味がございましたら是非ご参加ください。

【日時】
１１月１９日（木）
１４：００～１５：００（１３：３０開場）

【会場】
井田病院２階会議室

申込不要、参加無料です。



市民公開講座の今後の予定は、
井田病院ホームページでご確認ください。

井田病院HP

（文責：地域医療部）

ほっとサロンいだ　イベント案内

「ほっとサロンいだ」ではどなたでも無料で参加できるイベントを開催しています。
各イベント先着１０名様までですので、御希望の方はお早めにお申し込みください。

◎2026年12月17日開催（13:00～13:45）

かながわ がんピアサポーター（がん体験者）
プレゼンツ「肌をやさしく整えるセルフケア体験」
かながわピアサポーター

◎2027年1月21日開催（13:00～13:45）

「ホッと暮らす」ための法律準備を知る
講師：NPO法人介護ライフアドバイザー協会
緩和ケアサポート士業会　代表　田中　肇先生

◎過去のイベントの様子



※イベント開催日は、患者さんやご家族、医療者との対話の場「がんサロン」も開催されますので、
合わせてのご参加をお待ちしています。

≪申込方法≫
右記の二次元コードを読み込み、
案内に沿って必要事項を入力して送信
または、がん相談支援センター（044-751-8280）までTEL



（文責：地域医療部）

橘ふるさと祭りに『健康相談ブース』を出展しました。

８月２日（日）に川崎市民プラザで開催された橘ふるさと祭りに『健康相談ブース』を出展しました。

ブースでは「医師による健康相談」、「栄養士による栄養相談」、「検査技師による握力測定」、「看護師による血圧測定」を行い、延べ１０２名の方にご参加いただきました。

参加者からは「毎年楽しみにしている」「先生と話ができてよかった」とのお声もいただきました。また、握力測定は子供たちに大人気でした。



（文責：地域医療部）

旬の多摩川梨をお届けしました

食養科では、患者さんに季節の味を楽しんでいただけるよう、地産地消に取り組んでいます。

今年度2回目の取り組みとして、多摩区で育った「**多摩川梨**」を2年ぶりに提供しました。多摩川梨は品種名ではなく、多摩川流域で栽培される梨の総称です。今回は、果汁が豊富でみずみずしい食感が特徴の「**豊水**」を提供しました。

アンケートには、「**おいしかった**」「**食べる楽しみにつながる**」「**市立病院として当然の取り組みだと思う**」など、20件を超えるご意見・ご感想が寄せられました。

これからも、地域の食材や旬のおいしさを取り入れ、入院中の食事を楽しんでいただけるよう工夫してまいります。



（文責：食養科）

ビッグレスキュー神奈川に参加しました

2026年9月1日防災の日に行われたビッグレスキュー神奈川に井田病院DMATが参加しました。

ビッグレスキュー神奈川とは、毎年、神奈川県と厚木市が各関係機関と協力して実施する医療救護活動を主体とした実践的な総合防災訓練です。救助活動や様々な展示、体験が行われ、自衛隊、消防、警察をはじめとして都市生活を支える関係機関が多数参加して実践的な救助活動やライフラインの復旧活動の訓練を実施します。

井田病院は、川崎市にある7つの災害拠点病院のうちの一つであり、災害時に医療支援活動を行うDMAT隊を有しています。「DMAT」は最近では良く耳にしますが、災害時に迅速に派遣され被災地で医療支援活動を行う専門的な災害派遣医療チームで、負傷者の救護、搬送、地域病院の支援、医療資源の調達、避難所への医療提供などを行います。井田病院には現在10名のDMAT隊員が活動をしており、今年も神奈川県の災害対応の一環として、杉医師、濱口看護師、高井看護師、川村業務調整員の４名で、この訓練に参加しました。

今年の訓練は大和市立病院内での活動になりました。地域医療を支えるための保健医療調整本部が各自治体地域で組織されますが、同じ様に、その支援を行うDMATにも各地域に活動拠点本部を組織して活動します。その本部運営が今回の任務でした。早朝６時過ぎに救急車に医療資材等を積み込み井田病院を出発しました。８時前に大和市立病院に到着、資材を搬入して活動を開始しました。本部では、医療資源である物資調整や、施設調査などを行いました。

このように、神奈川県、および川崎市の災害時医療体制を支えるために平時から訓練を行い、有事に備えています。

今後のDMAT活動にご理解、ご協力をお願いします。

（文責：検査科課長補佐
神奈川DMAT-L業務調整員　川村良治）

院内コンサート

10月1日（木）に川崎市消防音楽隊による院内コンサートが開催されました。フルートやクラリネット、サックスなど、総勢14名の女性音楽隊が消防の衣装で登場し、アンコールを含め全8曲を演奏してくださいました。

日本の童謡では幅広い世代が懐かしさを感じ、アンコールのマツケン・サンバⅡでは華麗なダンスを披露していただき、会場全体が大いに盛り上がりました。

総勢55名の患者さんに出席していただき外来患者さんも、入院患者さんも、癒しのひと時を過ごすことができたと思います。



（文責：看護部　杉崎）

AI電話

令和8年8月3日から、健診・ドックの予約申込、予約変更、予約キャンセル・予約確認などの電話受付の対応のため、AI電話を導入いたしました。

AI電話とは、電話をおかけいただいた際に、電話口で話す内容を理解し、人間の代わりに電話対応する仕組みです。

AI電話の導入により、24時間365日受付が可能となります。また、最大100回線分を同時に受け付けることが可能であることから、話し中などによりお待たせすることがありません。

健診・ドックなどの予約申込の際は、お待たせすることのないAI電話あてにお気軽にお申し込みください。

（文責：医事課）

新任医師紹介

腎臓内科：麻生満広

引き続きよろしくお願いします。

外科：嶋根学

令和8年10月より外科に赴任いたしました、嶋根学と申します。
これまで、関連病院、大学病院、がん専門病院で研鑽を積んで参りました。消化器外科、特に肝胆膵疾患を専門としております。培ってきた経験と技術を活かし、消化器腫瘍、特に肝胆膵領域を中心とした専門的な診療を通じて、地域の皆様に貢献してまいりたいと考えております。安心して受診していただける、信頼される医療を提供できるよう努めてまいります。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

整形外科：安東悟司

専門は股関節外科ですが、外傷手術にも積極的に取り組みたいと考えています。趣味は旅行とダイビングです。最近はハーフマラソンへの出場を目標に、ランニングに励んでいます。
どうぞよろしくお願いいたします。

発行責任者　田中　良典
川崎市中原区井田2－27－1
編集　川崎市立井田病院　ホームページ・広報委員会
電話　044-766-2188（代表）